

# 誰にも聞けない 健康の悩みを話し合おう

司会

コーディネーター

NPO法人北海道活性化センターTactics代表理事

村松 弘康氏

パネリスト

北海道柔道整復師会 名誉会長・光星整骨院 院長 池上 公介氏

星澤クッキングスタジオ 星澤フードサービス主宰 星澤 幸子氏

国立病院機構函館病院 院長・日本笑い学会 北海道支部長 伊藤 一輔氏

日本総合医学会北海道総支部 総支部長・北海道大学名誉教授 吉木 敬氏

順天堂大学医学部 名誉教授・アトピー疾患研究センター長 奥村 康氏

池上公介氏（司会） それではただいまからパネルディスカッションを始めます。コーディネーターの村松先生よろしくお願いします。

村松弘康氏 まず皆さんにご発言いただきます。その後で会場からの質問にお答えいただきます。最初に沢田先生お願いします。

沢田守氏 今日は、人生は一回きりですから長生きをしたい。しかし、ただ長生きしたのでは意味がない。健康で幸せに長生きをするための心得をお話し

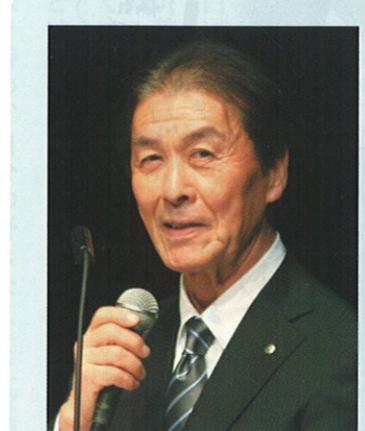
したいと思います。日本は女性が86歳で世界一、男性は79歳の長寿国です。WHOでは、それは日本古来の伝統的な低脂肪食、いわゆる日本食を食べたことと、医療の発達による乳幼児の死亡率の低下が大きな要因としています。

今、TPPが問題になっていますが、私はPPKを問題にしておりません。ピンピングコロリ。ピンピングしていくコロッピ死にたいということです。長生きの第1箇条は腹8分にして胃腸に負担をかけないこと。第2箇条は好き嫌いせず何でも食べる。第3によく笑う、

をして頂きたい。第5箇条は、心を穩やかにして、よくよしないこと。長生きする人はとにかく笑いがあつて明るい。第6箇条、短気は起こさずにいつも笑顔で暮らすこと。第7箇条、風邪は万病の元。死因の一番目がガン、その次が心臓。前は脳疾患が第三位だつ

たのですが、今は風邪から肺炎で亡くなる方が第三位です。第8箇条は、冬のお風呂の回数を減らせということです。風呂で亡くなる人が冬の間は倍増します。9箇条は散歩と体操を毎日やること。その間に深呼吸をすることが大事です。第10箇条はいつまでも夢と

よく噛む。噛むことによって脳に刺激がいき、認知症にもならないということです。4番目は塩分・糖分は控えめに、愛情は濃い目に、そういう食生活



村松 弘康

NPO法人北海道活性化センターTactics代表理事  
弁護士

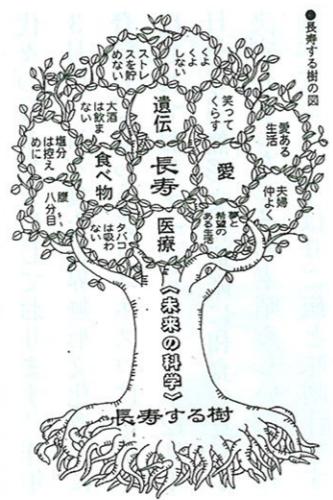
1946年北海道足寄郡陸別町生まれ。1970年、早稲田大学法学部卒業。1977年4月弁護士登録、1995年札幌弁護士会副会長。1999年北海道大学大学院法学研究科民事法専攻修了。札幌弁護士会司法改革推進委員会委員長、同司法改革推進本部本部長代行、日弁連司法改革実施対策会議委員等を歴任。論文として、「法曹一元論議、ここが足りない」(週刊法律新聞2001年1月5日)等多数。

## 「今、問われる健康長寿の常識と免疫力」

**長寿するための心得13ヶ条**

**第13ヶ条**  
夫婦仲良く、家族・友人を大切にして暮らす

今が一番幸せ105歳



### 沢田 守

北海道柔道整復師会 名誉会長・光星整骨院 院長

昭和16年北海道美瑛町出身。公益社団法人日本柔道整復師会相談役。公益社団法人北海道柔道整復師会名誉会長。平成3北海道知事表彰(北海道社会貢献賞)、平成5年厚生大臣表彰(地域医療功労)、平成10年藍綬褒章、平成11年労働大臣表彰(医療功労)、平成24年旭日双光章を受賞。「治療は親切丁寧にして、お大事にどうぞの心」「治療させていただきますの心」「患者さんの心に伝わる治療」の三つの心を大切に日々患者さんに負担の少ない治療を提供。著書に「長寿する樹(長寿の秘訣)」「大往生したい人 この指にとまれ「スキノ漫遊記」など。



村松氏 続いて星澤先生お願いします。

星澤幸子氏 最近、情報が多くなりますね。タバコは駄目だ、いや吸ったほうがいい。酒は飲むな、思いっきり飲め。水は飲むな、3リットル飲みなさい。あらゆる本が出ています。どっちがいいのだろうって迷いますよね。実験をしてみると良いと思います。良さそうなことを真似して自分に合うかどうか、2週間くらいやつたら分かります。朝が快調に出ると、昨日食べたものが良かったということです。体重も落ちますので自分が自分に合っていると分かること。それが本当に気持ちいいのかといふ

希望と青春を失わないこと。長寿の双子で有名だった金さん銀さんの金さんにお会いしたことがあるのですが、これらすべてに当てはまりました。第11箇条は快食、快眠、快便です。トイレで力まないでくださいよ。それで頭の血管が切れて死ぬ人が年間何千人もいるんです。それからストレスを溜めないことです。それが第12箇条です。最後に、夫婦仲良く、家族や友人を大切に暮らすことが長生きをする13箇条です。ぜひこの13箇条をトイレに飾って毎日眺めて、健康で幸せに長生きして頂きたいと思います。ありがとうございました。

## 「今、問われる健康長寿の常識と免疫力」

**笑 方 箋**

1回1分間の笑い 1日5回  
(起床時 毎食後 就眠前)

註: 笑いたくないときは、鏡にむかっての作り笑いでも可。  
口角を斜め上外側に引き上げる。

または、「OOO好きー!」、  
「ひー、ふー、みー」と言うのも可。

国立函館病院 医師 伊藤一輔

**ストレス解消のおまじなえ!**  
by 伊藤一輔

**“逆らわず  
いつも笑顔で従わず!”**

(サラリーマン川柳)

が1・6倍も高いという結果が出ました。社会的・心理的ストレスが、精神鬱や循環器疾患に深く関わっているのです。

笑いはポジティブな感情の一つで、人生を楽しむことと密接に関係しています。そこで笑い学会では、漫才や落語を聴かせて笑わせる実験を行いました。そうしますとナチュラルキャラ細胞が3時間笑つただけで上がることが証明されました。痛みや炎症を軽減させることも判明しました。また、落語を聞いた前後で脳波を調べますと、リラックスした時に出る $\alpha$ 波と $\beta$ 波が両方とも出ていました。

ヒボクラテスは、私たち人間の体の中にはたくさんのお医者さんがいて、高いものは下げる、低いものは上げる恒常性があると言いました。そうした体内の薬を働かせるのがとても大切だと思うのです。ほぼ毎日笑う人を1とすると、笑いの少ない人は糖尿病リスクが1・5倍も高くなり、ストレス自覚率、鬱の調査でも大きな差が出ています。笑うことで認知症のリスクも下がります。ストレス解消がとても大切です。サラリーマン川柳にありました。「逆らわずいつも笑顔で従わず」。これはとても健康にいいなと思っていました。

吉木敬氏 大腸には、糞便1g当たり約1兆個というすごい数の腸内細菌が常 在しています。腸内細菌叢の組成はもちろん個体差があります。赤ちゃんの細菌叢は、一番乳酸菌が多くていい状

村松氏 最後に吉木先生お願いします。



伊藤 一輔

国立病院機構函館病院 院長  
日本笑い学会 北海道支部長

1974年北海道大樹町生まれ、十勝・陸別町育ち。1971年弘前大学医学部卒。専門は、循環器内科、循環器心身医学。北海道大学医学部循環器内科、東京女子医大付属日本心臓血管研究所、国立病院機構西札幌病院などを経て現在に至る。日本笑い学会理事と同会の北海道支部長を務め、笑いと健康に関する講演を各地で行っている。医学博士。著書に「よく笑う人はなぜ健康なのか」(日本経済新聞出版社)など。

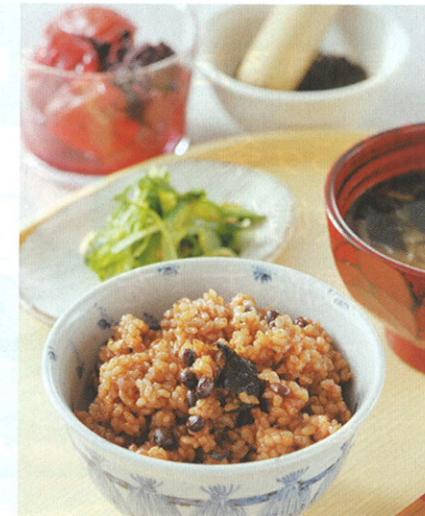
うことを自分の体に聞きながら、一つ試していただいたらいいと思います。一番頼りになると思うのは、私たちの先祖がしてきた生活スタイルです。少なくとも食べ方について、私は先祖代々の日本食を信じております。昨年3月に、日本食を世界無形文化遺産に登録してもらうようユネスコに申請が出来ております。(2013年12月4日ユネスコ無形文化遺産に和食の登録が決定しました。)その素晴らしい文化の日本食とは、やはりご飯と味噌汁です。私が皆さんにお薦めしているのは、私の開発した発酵玄米という食べ方です。玄米が大変であれば五分付米でも結構です。北海道産の玄米と黒千石と昆布と塩でつくり、ジャーの中に入れとおいて、少なくなったなと思ったらまた新しいのを足して、ずっと保温状態にしておくのです。そうすると玄米

の酵素がたくさん増えて大変消化吸収の良いものになります。玄米は炊きたてでは、デトックス効果が強すぎますし、消化が悪いので3日間置いておいて、4日目から食べ始めるといいですね。

次に味噌汁です。私は簡単な味噌汁の作り方をご提案申し上げております。

伊藤一輔氏 笑う門には福来たる。ストレス社会といわれる現代社会の中で今、笑いと健康、笑いと疾病の関係が注目されています。

約20年前、市民参加型の笑い学会が創設され、その北海道支部として「北海道笑つてもいいんでない会」が立ち上げられました。心から声を出して笑うのは人間だけです。何故人間は笑う生命体になつたのか。まず、人間は一人で生きられないで社会で生きるために笑いを獲得したのが一つの役目。そしてもう一つ、健康に生きるために笑うように進化したことがいろいろなデータから分かってきました。大阪大学の調査で、生活を楽しんでいる人を1とすると、楽しんでいない人は、卒中・心臓病などの循環器疾患リスク



星澤 幸子

星澤クッキングスタジオ 星澤フードサービス主宰  
北海道南富良野町生まれ。星澤クッキングスタジオ 星澤フードサービス主宰。日本初の夕方のワイド番組、STVどさんこワイド放送開始から毎日生出演し、料理を紹介して21年目。紹介数は5000品余にのぼる。それによるギネス記録保持者であり、自己の記録を更新中。北海道の食材にこだわり、誰にでも作れる手軽な料理を紹介して、独自のスタイルを確立し幅広い年齢層に絶大な支持を得ている。笑顔と軽快なトーク、明るいキャラクターが受け、日本テレビの「全国女子アナNG集」「鉄腕ダッシュ」「火曜サプライズ」にも出演し、全国的に活躍の場を広げる。商品開発、宇宙食開発、料理本、エッセイ出版、ラジオ出演、講習講演会活動など。

まず味噌を大匙1杯弱お椀に入れて、鮭節や鰯節を細かく入れ、ちょっと残ったきんぴらを数本、海苔のしけたのがあったわね、みたいな感じで入れていただけて、お湯を注いだらこれで味噌汁でございます。鍋で仕立てる必要はございません。ということでお飯と味噌汁。これが日本人の原点でございます。



村松氏 伊藤先生お願いします。